



# 基金ニュース No.114 2019年10月25日

発行 金沢大学基金室 【金沢大学本部棟2(1階)】  
Tel. 076-264-5075 Fax.076-234-4033  
E-mail: [kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp)  
URL: <https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>



● **金沢大学基金の近況** ● 令和元年8月末日現在の寄附累計額は、**8億6,566万円**となりました。多大なるご寄附をいただきました皆様には、深く感謝を申し上げます。

令和元年8月 金沢大学の基金の状況

区分		基金受入実績(令和元年度)				基金設立からの累計 (平成20年3月～)
		令和元年8月			当月計	
		大学基金	修学支援基金	課外活動振興基金・協力事業		
学内	役員	0	2	0	2	3
		0	100,000	0	100,000	350,000
	教職員	2	1	0	3	9
		2,208	2,000	0	4,208	32,208
	在学生	1	0	0	1	3
	295	0	0	295	25,295	
	小計	3	3	0	6	15
		2,503	102,000	0	104,503	407,503
学外	退職教職員	1	0	0	1	27
		9,682	0	0	9,682	374,045
	卒業生	24	3	0	27	183
		209,586	33,000	0	242,586	13,153,882
	学生の保護者	1	1	0	2	31
	1,000	20,000	0	21,000	496,000	
	一般(その他)	1	0	0	1	9
		500,000	0	0	500,000	626,658
	小計	27	4	0	31	250
		720,268	53,000	0	773,268	14,650,585
その他	法人・団体	2	0	2	4	26
		50,803	0	850,500	901,303	10,411,444
	運用益	0	0	0	0	2
		0	0	0	0	104,408
	寄附金付自動販売機	0	0	0	0	2
					24,942,790	
	小計	2	0	2	4	30
		50,803	0	850,500	901,303	35,458,642
合計	延数	32	7	2	41	295
	金額(円)	773,574	155,000	850,500	1,779,074	50,516,730

(注) 上段は延数、下段は金額(円)を表す。

大学基金(用途特定・課外活動・協力事業を除く)・ 修学支援基金受入累計概算額	左、執行済 概算額	左、執行可能 概算額	課外活動振興基金・ 協力事業受入累計額
665百万円	305百万円	360百万円	78百万円



## 留学支援奨学金 受給生からのメッセージ

◆ 林 菜々子 (はやし ななこ)  
理工学域地球社会基盤学類 3年

私はオーストラリアのブリスベンに一月ほど留学しました。ブリスベンでは語学能力の向上を目指し留学しましたが、語学能力だけでなく、オーストラリア文化やそれ以外の国の文化など多くの人とコミュニケーションをとることによってさまざまなことが得られました。今までは、バイト先などで英語で話しかけられたり、日本人ではなさそうなお客様に接客する際、苦手意識を持っていましたが、今回の留学の際に英語でのコミュニケーションの場を多く持ったおかげで、緊張せずに伝えたいことを伝えられるようになりました。

今回、金沢大学基金から支援していただき、本当にありがとうございました。

【写真】

語学学校の担任、  
ティム先生(左)と



## ■ TOPIX

### 【ボランティアさぼーとステーションへの ご寄附のお願い】

10月13日に上陸した台風19号により、被災した地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

金沢大学ボランティアさぼーとステーションは、東日本大震災をきっかけに創設された学生団体であり、陸前高田市を中心に災害ボランティアを派遣するボランティアバス企画運営活動を続けています。これまで東北の他に茨城県常総市、倉敷市真備町といった水害被災地域にもボランティア派遣を行ってきました。

このたび、台風19号の被災地に向けたボランティアバスを企画中で、10月22日には先遣隊の派遣も決定しています。災害ボランティアに行きたい学生のために、災害ボランティア研修も行った上で、できれば複数回のボランティアバスを企画・運行させたいと考えています。そのバス代確保のため、「課外活動振興基金→ボランティアさぼーとステーション」よりご寄附賜れば幸いです。

被災地ボランティアは、現地への支援・寄り添いが第一の目的ですが、参加した学生が現地活動を通じて多くのことを学び・考える機会ともなり、防災意識を高める機会ともなります。私たちの活動にご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

武田 公子 教授 (金沢大学経済学経営学系)

基金Webサイトに、金沢大学基金の状況について掲載していますので、ご覧ください。

